

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2001-240303 (P2001-240303A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 4 日 (2001.9.4)
 【出願番号】特願 2000-54838 (P2000-54838)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 37/04 (2006.01)

B 6 5 H 31/36 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 37/04 D

B 6 5 H 31/36

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 28 日 (2007.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】搬送されてくるシートが束状に積載されるシート束積載手段と、
 前記シート束積載手段に積載されたシート束を綴じるシート束綴じ手段と、
 前記シート束積載手段に積載された前記シート束の搬送方向の下流端部を前記シート束の厚み方向から挟圧するシート束挟圧手段と、を備え、
 前記シート束挟圧手段が、綴じられたシート束を前記シート束積載手段から排出可能であることを特徴とするシート束綴じ装置。

【請求項 2】

前記シート束挟圧手段が、前記シート束積載手段上のシート束を挟圧して、当該シート束を綴じ位置に搬送可能であることを特徴とする請求項 1 に記載のシート束綴じ装置。

【請求項 3】

前記シート束挟圧手段が、綴じられたシート束を前記シート束積載手段から排出する方向に搬送可能であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシート束綴じ装置。

【請求項 4】

前記シート束挟圧手段が前記シート束を挟圧する位置を、前記シート束綴じ手段のシート束綴じ位置を通して前記シート束の搬送方向の下流端と平行な直線の近傍の領域としたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のシート束綴じ装置。

【請求項 5】

前記シート束挟圧手段が前記シート束を挟圧する位置を、前記シート束綴じ手段のシート束綴じ位置を通して前記シート束の搬送方向の下流端と平行な直線と前記下流端との間の領域としたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のシート束綴じ装置。

【請求項 6】

前記シート束挟圧手段が、前記シート束積載手段に前記シートが積載される間に、前記シートを挟圧することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のシート束綴じ装置。

【請求項 7】

前記シート束挟圧手段は、前記シート束綴じ手段が前記シート束を綴じるとき、前記シート束を挟圧することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のシート束綴じ

位置。

【請求項 8】

前記シート束挟圧手段が、前記シート束積載手段に前記シートが積載されるとき前記シート束積載手段から離れた位置に待機可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のシート束綴じ装置。

【請求項 9】

前記シート束挟圧手段が、前記シート束積載手段上のシート束を挟圧して、当該シート束を搬送可能な 1 対の回転体を有していることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載のシート束綴じ装置。

【請求項 10】

シートに画像を形成する画像形成手段と、

前記画像形成手段によって画像が形成されたシート束を綴じる請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載のシート束綴じ装置と、を備えた、

ことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成する本発明のシート束綴じ装置は、搬送されてくるシートが束状に積載されるシート束積載手段と、前記シート束積載手段に積載されたシート束を綴じるシート束綴じ手段と、前記シート束積載手段に積載された前記シート束の搬送方向の下流端部を前記シート束の厚み方向から挟圧するシート束挟圧手段と、を備え、前記シート束挟圧手段が、綴じられたシート束を前記シート束積載手段から排出可能である。

前記シート束挟圧手段は、前記シート束積載手段上のシート束を挟圧して、当該シート束を綴じ位置に搬送可能である。

前記シート束挟圧手段は、綴じられたシート束を前記シート束積載手段から排出する方向に搬送可能である。

前記シート束挟圧手段が前記シート束を挟圧する位置を、前記シート束綴じ手段のシート束綴じ位置を通して前記シート束の搬送方向の下流端と平行な直線の近傍の領域としてある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

前記シート束挟圧手段が前記シート束を挟圧する位置を、前記シート束綴じ手段のシート束綴じ位置を通して前記シート束の搬送方向の下流端と平行な直線と前記下流端との間の領域としてある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

前記シート束挟圧手段は、前記シート束積載手段上のシート束を挟圧して、当該シート束を搬送可能な１対の回転体を有している。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】